

# 公益財団法人 日本女性学習財団

## 2013 年度コラボレーション・セミナー募集要項

### 1. 目的

コラボレーション・セミナーは、(公財)日本女性学習財団が開発したプログラムを全国各地の機関、団体・グループと共に地域課題に則した企画として実施し、地域の生涯学習振興とネットワークづくりを目指します。

### 2. 募集対象・資格

①女性関連施設・生涯学習センター等の機関（指定管理者も含む）

②団体・グループ

（女性団体・企業/労働組合・大学キャリアセンター・NPO法人を含む）

※個人での申込みは受け付けない。

①～②は以下の要件を備えていること

- 1) 規約があり、予算・決算・事業報告を的確に行っている団体であること
- 2) 特定の政党、これに類する政治団体及び宗教活動や営利活動を主たる目的とする団体でないこと
- 3) 前年度に実施していないこと

### 3. 募集要件

①企画

以下のプログラムを基にした講座・セミナー・ワークショップ等の企画であること

A：地域活動・市民活動支援

企画力・提案力・組織力など活動の実践力をステップアップするセミナー

B：子育て支援

関係づくりの視点を入れた子育て支援セミナー(男性の地域参画を含む)

C：生涯にわたるキャリア形成支援

女性のライフステージに応じたキャリア形成支援セミナー

(育児中の女性、女子学生、非正規雇用女性など。支援者向けを含む)

※各プログラムについては別紙1参照（財団ホームページに詳細を掲載する）

②実施時期 2013年6月～2014年2月

### 4. 募集件数 4件程度

### 5. 選考方法

書類選考を行い、採否について2013年2月上旬に通知する。

※選考基準については別紙2参照

## 6. 応募方法

所定の申込書に記入の上、(1)～(5)の書類を添付して本財団学習事業課宛に郵送すること。

- (1) 2013 年度コラボレーション・セミナー事業申込書(別紙 3)
- (2) 2012 年度事業計画
- (3) 2012 年度予算書
- (4) 団体の規約(応募者が行政の場合、不要)
- (5) 役員名簿及び会員名簿( 同 )

## 7. 応募締切

2013 年 1 月 28 日(月) 消印有効 ※郵送以外は受け付けません。

## 8. 経費・役割分担

書類選考を経て採用となった企画は、下記の通り経費・役割を分担する。

◎：主担当    ○：副担当    —：分担なし

経費分担	財 団	共催機関・団体
会場(含保育室・講師控室等)	—	◎
保育経費	—	◎
テキスト代(財団作成・発行資料)	—	◎※1
講師謝礼・旅費等	◎	○※2
財団職員派遣費用	◎	—
打合せに係わる職員派遣旅費	—	◎
広報関連費用(制作・発送)	○※3	◎

※セミナーでは月刊「We learn」1冊と以下の財団発行資料の中から1冊を選定してテキストとして参加者に配付する。費用は共催団体または参加者が負担する(800円～1,800円/人)。

『学習支援ハンドブック』1,500円(Aプログラム)

『関係づくりの難しさをラクラク超える』700円(Bプログラム)

『むすんでひらいて編みなおして』500円(Bプログラム)

『女性のキャリア形成支援ハンドブック』840円(Cプログラム)

月刊「We learn」300円(A～Cプログラム)

※2 共催団体が選定・依頼した講師の謝礼・交通費は共催団体が負担する。

※3 財団は、月刊「We learn」、財団HP、財団DM等で広報を行う

役割分担	財 団	共催機関・団体
企 画	◎	○
参加者募集※・窓口	(問合せのみ)	◎
チラシ・ポスター制作・印刷	○	◎
当日の運営	◎	◎
参加者アンケート・共催に関する事業評価	◎	◎

※参加者が10名未満の場合は、実施を中止することもある。

## 9. その他

### ①申込時の注意事項

- ・参加者からの費用徴収、保育に関する費用負担等に関しては申込書に明記すること。内容については協議のうえ変更することもある。
- ・他団体の補助金・助成金、企業の協賛金等を受けて行う予定または決定がある時は、応募時にその旨明記すること。採用決定後に生じる場合は相手先・条件等について予め本財団と協議の上、決定すること。
- ・応募書類は返却しない。選考にかかる問合せには答えない。
- ・提出された情報については、本事業の選考以外には使用しない。

### ②採用後の履行要件

- 1) 採用となった企画の広報チラシ・ポスター、事業報告書等については、(公財)日本女性学習財団とのコラボレーション(協働)・セミナーであることを明記すること。
- 2) 採用決定後、財団および共催先担当職員と講師が協議の上、地域の実情にあった企画プログラムを作成し、実施可能な日数・時間・募集人数等、詳細を決定する。なお、参加者が10人に満たないときは本財団の判断で中止する場合がある。※連続講座の場合は、原則としてその中の1回を共催とする。
- 3) 講師、共催先担当職員を交えての打合せ会議は、事前に少なくとも1回、本財団を会場として開催する。
- 4) 応募者の組織、事業予算、担当部署・担当者、事業名称等、本事業に関連する事柄に変更があった場合には、本財団に速やかに連絡すること。
- 5) 物品の販売やこれにかかる広報活動、寄付・募金活動等は事前に協議すること。
- 6) (1)～(5)までの要件を満たさず、または共催者側事由により開催を中止する場合は、本財団はそれまでに発生した経費等、一切の責を負わない。また、信頼を損ねる行為により事業の中止または実施に支障をきたした場合、財団が被った損害については共催者が責めを負う。

#### ■申込み・問合せ先 公益財団法人日本女性学習財団 学習事業課

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館 5階

TEL 03-3434-7575

FAX 03-3434-8082

E-mail [jawe@nifty.com](mailto:jawe@nifty.com) HP <http://www.jawe2011.jp>

## 別紙 1

## 【 プログラム一覧 】

プログラム名	財団実施 セミナー例	内容	人数 (目安)	時間 (目安)	使用テキスト 参考テキスト
A 地域活動・ 市民活動 支援 プログラム	活動力パワーアップ 講座―協働のため の“提案力”を磨く!	行政等と協働経験の少ない 市民団体等が、活動をステッ プアップさせるために協働につ いて知り、協働を実現させる 「提案する力」を実践的に体 験しながら学べるセミナー。	30人	1日 (午前・ 午後)	使用テキスト 『学習支援ハンドブック』
	市民と行政、市民同 士の協働に向けて 一実践のふり返りを 通した、活動のあり 方を話し合うセミナ ー	地域活動者の実践力を高め るため、役割や求められる視 点について考え、具体的な方 法を学ぶプログラム。ラウン ドテーブル等の手法を用いて、 「組織の学び」を体験する。	30人	1日 (午前・ 午後)	使用テキスト 『学習支援ハンドブック』
B 子育て 支援 プログラム	DVDで考える 男性の地域参画	DVD「関係づくりで子育て支 援！」の事例などをヒントに考 えあうワークショップ。前半はD VDの事例などをもとに男性の 地域参画について考え、後半 はグループで「男性の地域参 画を進めるキーワード」を話し 合う。	30 ～ 50人	半日 ～ 1日	使用テキスト 『むすんでひらいて 編みなおして』 参考テキスト DVD『関係づくりで子育 て支援!』
	子育て支援者 パワーアップ セミナー	子育て支援者の資質向上を めざすプログラム。「関係づく りの視点」形成を、「出会いのワ ーク」「編みなおしのワーク」 「読みあいのワーク」など様々 なワークを通して学ぶ。	30 ～ 50人	1日 (午前・ 午後)	使用テキスト 『関係づくりの難しさをラ クラク超える』 参考テキスト: DVD『関 係づくりで子育て支援!』
C 生涯にわたる キャリア 形成支援 プログラム	女子学生のための キャリアしゃべり場	社会へ巣立つ準備を始める 女子大学生が、少し先輩格の 働く女性をキャリアモデルに迎 え、等身大の経験談を聴き、 グループで話し合いながら自 分の長い人生を見通したライ フプランづくりをし、社会とか かわる土台づくりをめざす。	30 ～ 40人	90分～ 180分	使用テキスト 月刊「We learn」 参考テキスト 『女性のキャリア形成支 援ハンドブック』
	子育て中の女性の ためのキャリア支援 セミナー	子育て中の女性が子どもや家 族との関係を考え、自分自身 のライフプランを築いていける よう、グループワークで学びあ いながら力をつけていくプロ グラム。キャリアモデルの提示 およびワークシートを通し、具 体的なプランづくりをめざす。	30人	半日 (2時間) ～1日	使用テキスト 月刊「We learn」 参考テキスト 『女性のキャリア形成支 援ハンドブック』
	仕切り直し・巻き返 しのためのライフプラン ニングセミナー	非正規雇用など不安定雇用 層が抱える個々の課題を、グ ループワークを中心とした学習 を通して整理し、次の一歩が 踏み出せることをめざす。また 受講者同志が、その後も互い にサポートできる関係づくりを めざす。	30人	半日 (2時間) ～1日	使用テキスト 月刊「We learn」 参考テキスト 『女性のキャリア形成支 援ハンドブック』
	女性のキャリア 形成支援者 スタートアップ講座	専門家によるレクチャーとワ ークショップ体験を通して、多 様な女性のニーズに応え、参 加者のエンパワーメントにつな がるキャリアセミナーの企画と 参加者への支援を学ぶ	30人	150 ～ 180分	使用テキスト 『女性のキャリア形成支 援ハンドブック』

**【コラボレーション(協働)・セミナー選考基準】**

以下の点を勘案して共催団体を選考する。

1. 企画のテーマ・内容（A～C）が偏らないこと。
2. 地域ならびに機関・団体の種類に偏りが生じないこと。

※例えば、地方・地域が一カ所に集中したり、機関・団体がNPOのみに偏らないよう配慮する。

3. 応募の企画に男女共同参画の視点があること。
4. 実施後、地域での波及効果が期待できること。

以上